



子どもの広報そうじゃ

第2号

発行/総社市 編集/企画課広報広聴係 〒719-1192 中央1-1-1 ☎92-8214 FAX 92-8216

そうじゃ・宮城っ子基金で

宮城県の子どもを全力で応援

「そうじゃ・宮城っ子基金」は、市役所によせられた東日本大震災の復興に向けた募金をもとにしたお金です。このお金から震災でお父さん、お母さんを亡くした宮城県内の中学生以下の子どもに、1人年間10万円を5年続けておくりします。これまでに、79人を支援。これからも総社市から全力で応援し続けます。

たくさん支援しているなかの「そうじゃ・宮城っ子基金」なんだね



注目! 総社の支援

食べ物や毛布などの支援物資やお金、総社市の電気自動車を、地震が起きてすぐに直接持って行きました。電気自動車の活やくは、なんとアメリカの新聞でもしょうかいされました。



宮城県からの声 山下裕士さんの言葉



私の娘家族は、宮城県名取市に住んでいて、東日本大震災の大津波におそわれました。孫たちは、学校に避難できたのですが、両親はにげおくれ、亡くなりました。みなさんの温かい支援のおかげで、孫たちは現在、元気に、明るく過ごしています。機会があれば、家族で総社市にお礼に行きたいと思っています。みなさんも、東北に遊びに来てください。岡山県もおいしい果物で有名ですが、東北もおいしい果物、海の幸も豊富ですよ。

山下裕士さん、緑さん、朱羅ちゃん(11歳)、朱音ちゃん(9歳)、朱里ちゃん(6歳)

みんな元気そうだね。総社に遊びに来てくれるとうれしいな。



奥山恵美子仙台市長から総社のみんなへ

被災地宮城・仙台の子どもたちへの、温かい励まし、いつもありがとうございます。仙台では今、新しい住まいの建設などさまざまな工事に力を入れています。日本は、災害の多い国です。みなさんも、万一に備えて、日ごろから家族で話し合い、防災に努めてください。来年からは、マラソンでの交流も始まるので、楽しみにしています。



東日本大震災では地震と津波で大きな被害が出ました。復興にはまだ時間がかかります。これからもみんなの支援が必要です。自分にできることは何かを考え、みんなとずっと応援していきましょう。

仙台国際ハーフマラソンとそうじゃ吉備路マラソンが連けい

「そうじゃ・宮城っ子基金」が縁で、「そうじゃ吉備路マラソン」と「仙台国際ハーフマラソン大会」がおたがいに連けいする協定を結びました。この協定は、宮城県仙台市とマラソンを通してさらに良い関係を築くためのものです。

協定の内容は、両方の大会がさらに発展するようPR。また、おたがいの地域への理解を深めてもらうため、東日本大震災の被災地の生徒をそうじゃ吉備路マラソンに招待します。

仙台国際ハーフマラソンの大会運営のノウハウを伝授してもらい、そうじゃ吉備路マラソンのさらなるレベルアップを目指します。



仙台国際ハーフマラソン大会に、そうじゃ吉備路マラソンから選手も走りますよ。



教えて!? チュッピーの秘密



「子育て王国そうじゃ」のマスコットチュッピーのプロフィールです。

- Q1. 歳はいくつ?
- A1. 5歳です。
- Q2. 好きな物は何?
- A2. ニンジンと牛乳だよ。
- Q3. 何か伝説はあるの?
- A3. チュッピーとあく手するとハッピーなことが起こると言われています。

※基金……市が何かのためにお金を積み立てること

ここではみんなの学校のことをしょうかいします

中 総社中央小学校

運動会

●みんなで燃えた運動会

5月25日、初夏を思わせるような日差しと青空のもと、運動会が行われました。赤と白に分かれて競い合ったり、みんなで心を合わせダンスや組み体操をしたりして、やりきった満足感でいっぱいの運動会になりました。なかでも応援合戦では、6年生中心の応援団が休み時間も練習し、団結力を高めることができました。

●6年生の感想

「私は副団長だったので、業間や昼休みも使ってがんばりました。朝学習での練習でも6年生がお手本となったので、1年生もそれを見てまねしていました。人一倍練習して成功させることができましたと思います。」「応援団だったから、休み時間もあまりなかったけれど、大声を出して応援ができたと思います。ほかの学年がリレーなどをしているとき、私たち応援団を中心に下級生にお手本を見せたり、優しく声をかけたりできました。準優勝だったけれど、練習のときからみんなが努力していたから運動会が成功したんだと思いました。」



ピラミッド完成!

票 総社西小学校

運動会

●運動会を通して学んだこと

「笑顔と絆・赤白全力 自指せ心の一等賞」。今年の運動会のスローガンでした。このスローガンに向けて、みんな一生けん命走ったり、おどったりできました。みんな、心の一等賞がとれたと思います。

私たち6年生にとっては、小学校生活最後の運動会でした。高学年は、表現で組体操をしました。組体操は、友達を信じていることが大切です。運動会の練習を始めただばかりのころは、友達と息を合わせるのがうまくいかないなど、まだまだみんなの気持ち一つになれていないところがありました。しかし、練習を重ねるたびに、技が失敗しても人のせいにするのではなく、友達をはげますようになりました。そして、本番では友達と信らいし合い、難しい技も次々に成功させることができ、私たちにとって思い出に残る最高の運動会となりました。

これからも友達と助け合いながら、いろいろなことに進んで挑戦していきたいと思います。



友達を信じて組体操

維新 維新小学校

ふれあい運動会

●維新学区みんなでつくる

今年の「維新学区ふれあい運動会」は、5月25日に開かれました。私たちの運動会は「ふれあい」という言葉のとおり、小学校・幼稚園、そして学区のみなさんがいっしょに行う種目もたくさんあり、とても楽しいです。

5月といっても暑い日が続くなが、今年のスローガン～みんなが協力し合って感動できる運動会にしよう～を合い言葉に、小学生28人は、全員が内容の濃い練習を重ねました。6年生は、維新小学校の機関車役として、練習に臨む態度や心構えでお手本となるようがんばりました。下級生もしっかりとついてきてくれたと思いました。組体操では、下の人から「しっかりささえるから安心してのっていいよ」という気持ちがしっかりと伝わってきて安心してのれました。そして最後の大技が成功できてとてもうれしかったです。

地域の人も、とても温かい声援を送ってくれました。ありがとうございました。



盛り上がる運動会

山手小学校

十日町との交流

●遠くはなれた中条小学校との交流

山手小学校は、新潟県十日町市立中条小学校と約20年前から交流をしています。この交流は、南北朝時代、学校の近くにある福山で十日町市の軍勢が戦った歴史があることをきっかけに始まりました。

夏には、中条小学校の6年生児童が山手に来て、ホームステイをします。備中国分寺の見学や福山登山、さらに山手でとれる桃の収穫体験などをします。

冬には、山手小学校の6年生児童が十日町へホームステイに行きます。少しドキドキしますが、修学旅行が2回あるようでとても楽しみです。十日町では、3メートルほど積もった雪の中で、クロスカントリーやチューブスライダーなどの体験をします。

気候も文化もちがう遠くはなれた地域との交流は、山手ならではの特色ある行事です。この伝統行事がいつまでも続くように、今年も十日町の人と仲良く交流したいと思います。



みんなで仲良く登った昨年の福山登山